

射 添 地 区 新しい地域コミュニティづくり 報 告 書

自然豊かで助け合い・支え合う安らぎの里づくり
～ 人が輝く元気な地域 ～



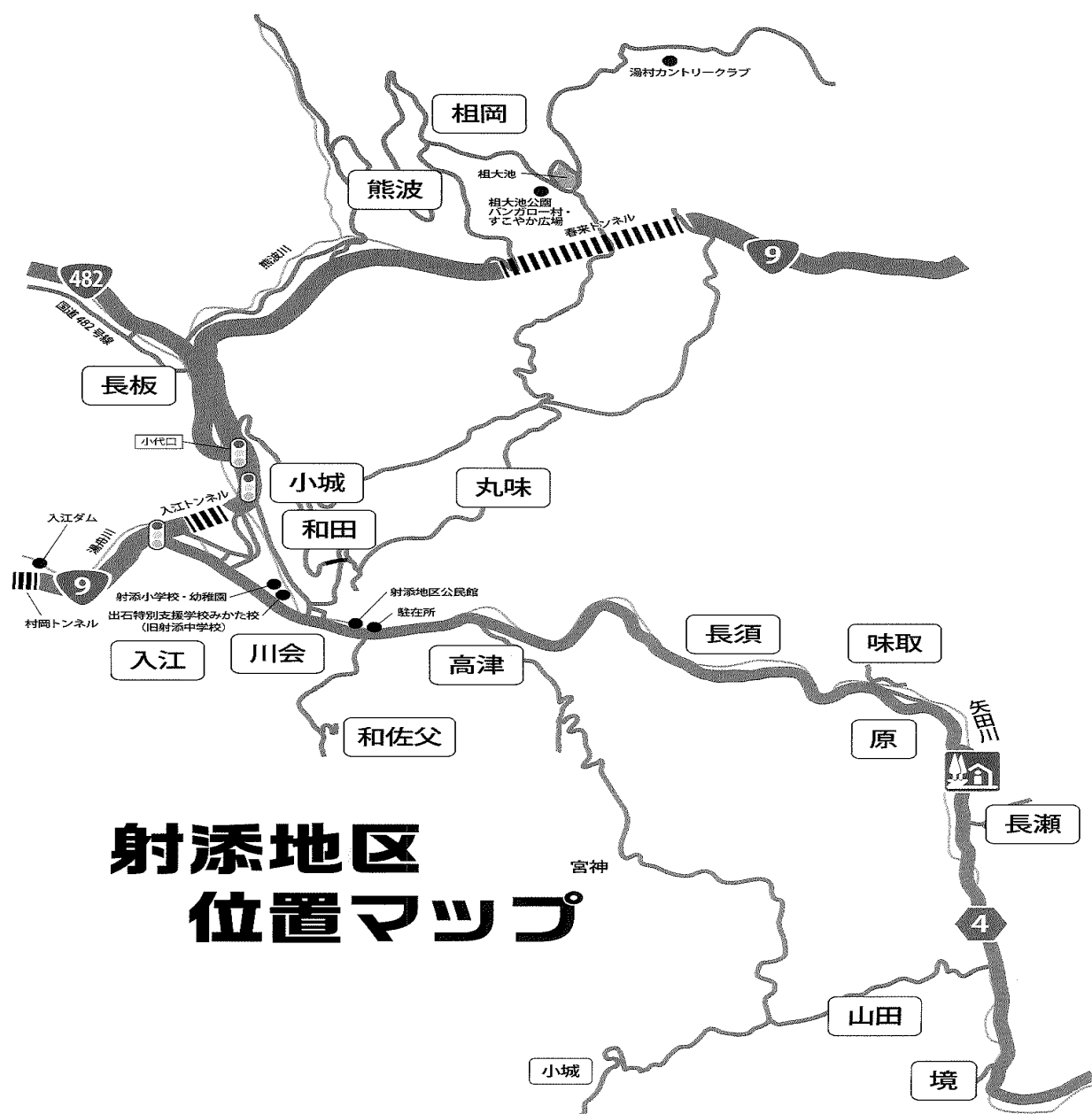
射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会

◇ ◇ ◇ は じ め に ◇ ◇ ◇

射添地区では、少子化と高齢化、若者の流出がより顕著であり、今後もさらに進行することが予想されます。

人口の減少により、各集落の機能を維持することが難しくなることも予想される中、昨年1月に『射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会』を立ち上げ、地域の現状と課題を洗い出すため、地域住民へのアンケート調査を実施し、中学生以上の住民の皆様方から様々な貴重なご意見をいただきました。射添地区の地域コミュニティのあり方や方向性を住民の皆様のご意見や要望を参考にしながら検討を重ねています。現在までの『射添地区新しい地域コミュニティづくり』の意見を取りまとめましたので報告致します。

今後も『射添地区まちづくり協議会』の設立に向け、区長様並びに地域住民の皆様、関係各位のご支援とご理解を賜りますようお願い致します。



1. 射添地区の人口の推移

※香美町人口ビジョン 2019.10月参照

年齢	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
65歳以上	770	716	633	603	574	530	492	406	340	290	255	230
15～64歳	931	807	680	560	456	385	358	317	299	273	245	221
0～14歳	222	149	119	112	109	104	95	89	82	74	68	66
合計	1,923	1,672	1,432	1,275	1,139	1,019	912	812	721	637	568	517
高齢化率	40.0%	42.8%	44.2%	47.3%	50.4%	52.0%	50.3%	50.0%	47.2%	45.5%	44.8%	44.5%

2. 射添地区の世帯数と人口の状況

2019.4.1現在

地区名	世帯数	人口	性別		19歳以下		54歳以下		55歳以上			65歳以上		
			男性	女性	人数	%	人数	%	人数	%	備考	人数	%	備考
入江	54	113	45	68	16	14.2	45	40	52	46.0	－	40	35.4	－
和佐父	13	35	14	21	7	20.0	6	17	22	62.9	○	17	48.6	－
和田	37	87	38	49	10	11.5	22	25	55	63.2	○	41	47.1	－
長板	45	144	66	78	16	11.1	44	31	84	58.3	○	63	43.8	－
熊波	35	77	40	37	3	3.9	13	17	61	79.2	○	43	55.8	◎
粗岡	66	144	60	84	11	7.6	33	23	100	69.4	○	79	54.9	◎
丸味	9	32	16	16	8	25.0	7	22	17	53.1	○	13	40.6	－
川会	48	132	67	65	19	14.4	38	29	75	56.8	○	52	39.4	－
高津	56	134	66	68	6	4.5	31	23	97	72.4	○	71	53.0	◎
長須	21	63	29	34	11	17.5	18	29	34	54.0	○	23	36.5	－
味取	60	160	80	80	15	9.4	37	23	108	67.5	○	74	46.3	－
原	16	45	22	23	4	8.9	13	29	28	62.2	○	20	44.4	－
長瀬	27	89	44	45	15	16.9	26	29	48	53.9	○	31	34.8	－
山田	48	97	45	52	9	9.3	20	21	68	70.1	○	57	58.8	◎
小城	8	12	6	6	－	－	2	17	10	83.3	○	6	50.0	◎
境	7	16	10	6	－	－	4	25	12	75.0	○	10	62.5	◎
16地区	550	1,380	648	732	150		359	26	871	63.1	15	640	46.4	6

※限界集落とは

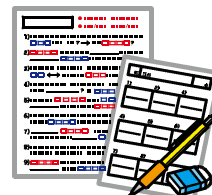
過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭などを含む社会的共同生活や集落の維持が困難になりつつある集落を指す。日本における概念。日本の人口が増加していた昭和中期までの時代でも、山奥で交通が不便、豪雪などの自然災害といった理由で住民が離村した廃村は各地にあった（西谷村など）。少子化と都市部への人口集中が顕在化した昭和後期から平成にかけて、外部との道路が整備され災害への対策がとられていても、限界集落やその予備軍となる地域が増えている。政府調査（総務省）では、住民の半数以上が65歳以上の集落は、2015年度時点で全国に15,568（⑨：2019年4月時点で全国に20,349前回の調査から約6千増えている）ある。5年前との比較で174集落が消滅した。高齢者が中心となった集落では、子育て世帯や中年以下の転入が存在しないか、極めて少ない状況が続くと、住民の死去や転出に伴い集落の維持が難しくなり、無人化する。

【限界集落の課題】

- ①個人の生活の維持が困難（移動手段の確保、生活物資の確保）
- ②集落機能の維持が困難（草刈り、農作業等の集落の共同作業できない・冠婚葬祭など支え合い活動が出来ない・神事や地域の伝統文化が継承できない）
- ③農地・山林の荒廃（経営面積の減少、耕作放棄地の増加、空き地、空き家の増加、鳥獣害被害）

【射添地区の人口の現状】

- ☑射添地区の高齢化率 46.4%（平成31年4月1日現在）
- ☑限界集落（65歳以上の人口の割合が50%以上） 6集落（◎印）
- ☑準限界集落（55歳以上の人口の割合が50%以上） 15集落（○印）



3. 射添地区の現状と課題（アンケートでの意見、ワークショップの意見集約）

（1）全 般

人口の過疎化が著しい「射添地区」は、若者が都市部へと流出し、少子高齢化が進行し、今後このまま推移すると集落の運営や維持も厳しい状況となります。地域の課題を十分協議し、射添地区にあった地域コミュニティづくりや地域住民が安心して住み続けることが出来る対策を求める意見が多数ありました。

《意見をまとめると》

◆求められる射添地区地域コミュニティづくりの将来像は・・・

◎持続可能な地域コミュニティづくり

- 住民・地域活動団体・学校・企業等多様な主体が地域の未来を地域のみんなで切り拓く『地域の総合力』
- 地域の将来を見据え、課題に対応した行動案を検討

◎射添地区の地域コミュニティ組織として必要な取り組み、活動とは・・・

- ・次の世代に活動を継承していく仕組み
- ・多くの人に地域活動への関心（参加）をしてもらう仕組み
- ・地域の総意を形成していく仕組み
- ・人のつながりを地域全体に広げていく仕組み
- ・地域と行政が連携、協力して「協働」で地域課題を解決する仕組み
- ・集落の歴史・伝統・文化が後世まで受け継がれる仕組み



※上記のようなことが考えられます。

（2）自然環境についての意見

- ・湯舟川、矢田川沿いに集落が点在しており、自然豊かで四季折々で景色が素晴らしい（山、川、星、田園・雪風景、空気等）

- ・自然の恵みに恵まれ（山菜、栃の実、鮎、ヤマメ）ていたが、近年は野生動物による鳥獣被害（猪、鹿、猿、カラス、川鶇、サギ）がひどく、川には魚などの生き物が少なくなっている。又、農作物の被害により耕作意欲が失われている。
- ・急傾斜地に住居等があり、徒歩による移動が困難であり、災害時に不安がある。
- ・冬期間には降雪があり主要道路は除雪体制が整っているが、集落内の家周りや除雪後の雪の排雪が高齢化もあり苦痛に感じている。

（３）地域住民交流及び集落の運営についての意見

- ・射添地区は穏やかな人が多く、集落のまとまりもあり隣近所が助け合い地域に対する愛着心強い反面、おとなしく、お人好しで消極的な人も多く、あまり発言、意思表示をしない（声の大きな方や力の強い人の意見が通る）
- ・子どもや高齢者も健康で元気であるが、少子高齢化により高齢者世帯や一人暮らしの世帯、独身者が多く、人口及び世帯数の減少してゆくのが心配。
- ・各集落間に距離があり、集落内での交流は実施しているが、近隣集落との交流はほとんどなく、区単位の交流を行ってはどうか。
（例：区役員との交流、区老人会同士の交流、射添各集落の見学会の実施）
- ・少子高齢化の進行とともに、近い将来集落の維持が困難な地区も考えられ危機的状況である。
- ・各種組織団体があるが、人材不足（一人が何役もしている）と人手不足（参加者が少ない）の問題がある。
- ・各種事業を計画しても来る人が決まっている。
- ・集落内で一人暮らしや高齢者世帯への声かけが必要と思う。



（４）地理的な要因（農地の環境）の意見

- ・山に囲まれ農地や住宅地も狭く、近年は耕作放棄地も集落内に点在しており、今後もさらに増加するものと思われ農地の荒廃が心配である。
- ・今後は高齢化と共に田畑の荒廃が進むと思う。
- ・林業の衰退とともに山林の荒廃が進んでおり、田畑の耕作放棄地もあり住宅地近くまで雑木等に覆われてしまう。
- ・山林資源を活用していない。

（５）安心・安全についての意見

- ・集落間の距離があるため、公共交通バスの乗り入れができない集落もあり、便数も少なく、又、タクシーもなく自家用車がなければ生活（買い物、病院等）が出来ないこともあり、高齢となっても『免許返納』を躊躇している。
- ・中学校・高校への通学や部活、サークル活動の送迎は、家族が行っている状況であり、子育てをする中で大きな負担となっている。（バス停から自宅まで距離ある

集落もある)

- ・住民同士顔見知りで、犯罪の少ない地域であるが、耕作放棄地や空き家（廃屋）の増加傾向もあり、生活環境及び治安の悪化が心配である。
- ・空き家が増えており何とかして欲しい。



（６）産業（地域）の活性化と伝承芸能の継承についての意見

- ・各集落で神事（秋祭り等）や伝承芸能（盆踊り・芸踊り・餅まき）等古き良き風習を継承しており、今後も人口減少する中でも続けて欲しい。
- ・若年人口が少なく後継者不足もあり継承するのが難しい。
- ・観光資源（長楽寺・祖大池周辺・山田・熊波溪谷・棚田・射添和紙）もあり、近隣で手頃な四季折々のレジャー（スキー・釣り・海・山・キャンプ・ゴルフ・ログハウス、林道等）が楽しめるため、PRによっては地域産業（起業）の活性化と雇用の増大の可能性がある。
- ・射添を考える会や射添を考える会青壮年部による『矢田川まつり』『伝統芸能大会』を30年近く継続開催しているが、近年は参集者が減少傾向（マンネリ化）もありを再検討が必要ではないだろうか。
- ・射添地区住民はそれぞれに田畑を所有し、おいしいお米・各種家庭野菜などを作り高齢者にとって楽しみである。
- ・農地保全対策（長須と長板に営農組合がある）が出来ないだろうか。
- ・農地、山林を活用した特産品開発や付加価値をつけた商品開発が出来ないか。
- ・射添には、多頭飼育の専業畜産農家があり、肉質の素晴らしい但馬牛（繁殖牛・肥育牛）を飼っている。
- ・射添地区には、福祉施設（3事業所）と製造・建設・小売り・サービス業等の企業が約20事業所程があり、従業員を雇用している。（どのようなものを作っているのか）



意見集約すると以上のようなことが地域の課題として考えられます。射添地区新しい地域コミュニティ組織は、今後これらの「射添地区の現状と課題」の解決に向け取り組むことが求められます。次項からは、組織体系などについてさらに検討しました。

◇射添地区新しい地域コミュニティづくりを目指して

《テーマ ①》 自然豊かで助け合い・支え合う安らぎの里(ふるさと)づくり ～ 人が輝く元気な地域 ～

射添地区は、地形が急峻で、耕地が少なく、河川や谷に沿って細長く集落が点在し、各集落それぞれに、古来より長年にわたり引き継がれてきた伝統・文化・風習があります。このような背景を踏まえ、私たちの地域は私たちで考え、さらに住みよいまちづくりを目指すような事業が必要と思われます。

『人が』・・・ 地域で生活する人、働く人、学ぶ人など地域に関わるすべての「人」が主役。

『輝く』・・・ 地域の誰もが、個人として尊重され、健康で安全に安心して、生きがいを持って生き生きと輝いて暮らしたり働いたりできること。

『元気な』・・・ 地域内、地域外から人が集まり、様々な取り組みや活動を行うことのできる開かれた元気な地域であること。

『地域』・・・ 小学校区の範囲で、様々な団体が活動している、まとまりのある「地域」

《テーマ ②》 『地域住民誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す』

◇誰もが生まれ育った集落に愛着があります。地域住民一人一人が生涯を通じ、今後もこの射添地区で地域住民とともに助け合い支え合い幸せに安心して生活できる地域コミュニティづくりが必要です。

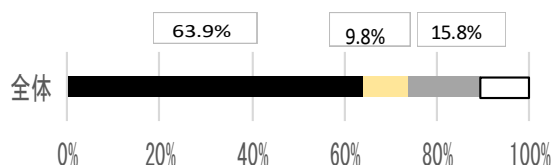


○射添地区まちづくりアンケート調査

問：14 あなたは、この地域、集落に愛着がありますか。

「ある」が63.9%と最も多く、次いで「わからない」が15.8%、「ない」が9.8%

※集落別クロス集計でも「ある」がほとんどの集落で半数を超えています。(単位：%)



入 江	63.0	熊 波	71.0	高 津	54.0	長 瀬	67.2
和佐父	42.9	粗 岡	65.1	長 須	68.4	山 田	54.1
和 田	75.5	丸 味	60.0	味 取	70.1	小 城	36.4
長 板	73.5	川 会	62.9	原	52.9	境	46.2

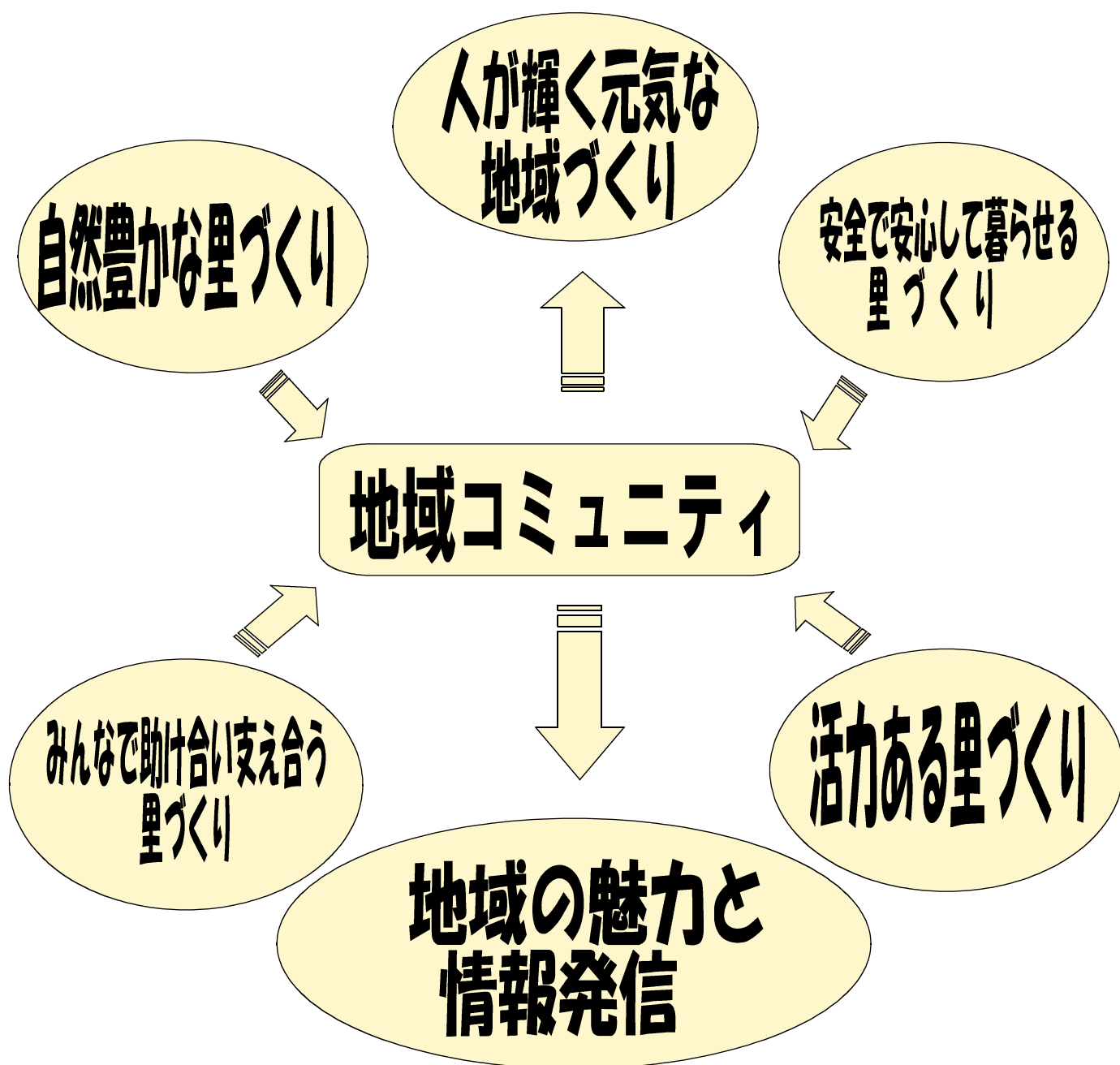
《目 標》として

まちづくりを実現するため下記の4つのビジョンを掲げることとしました。

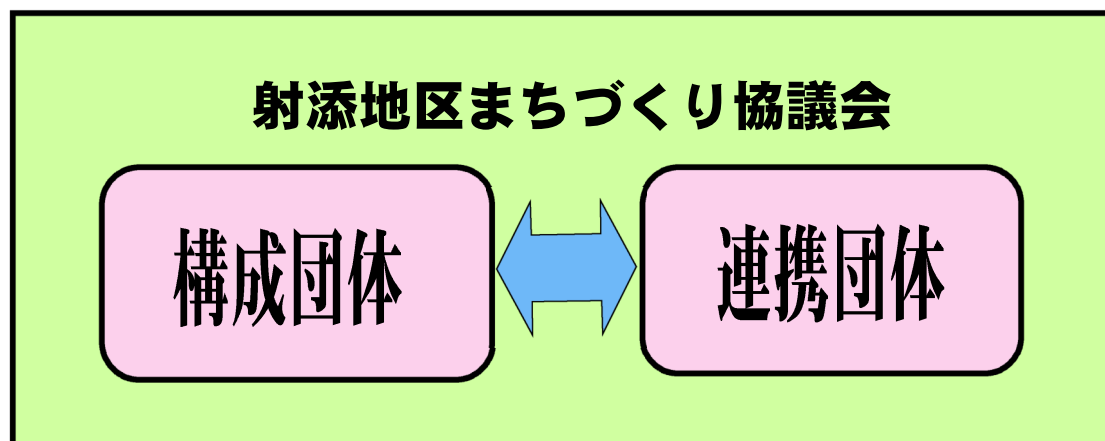
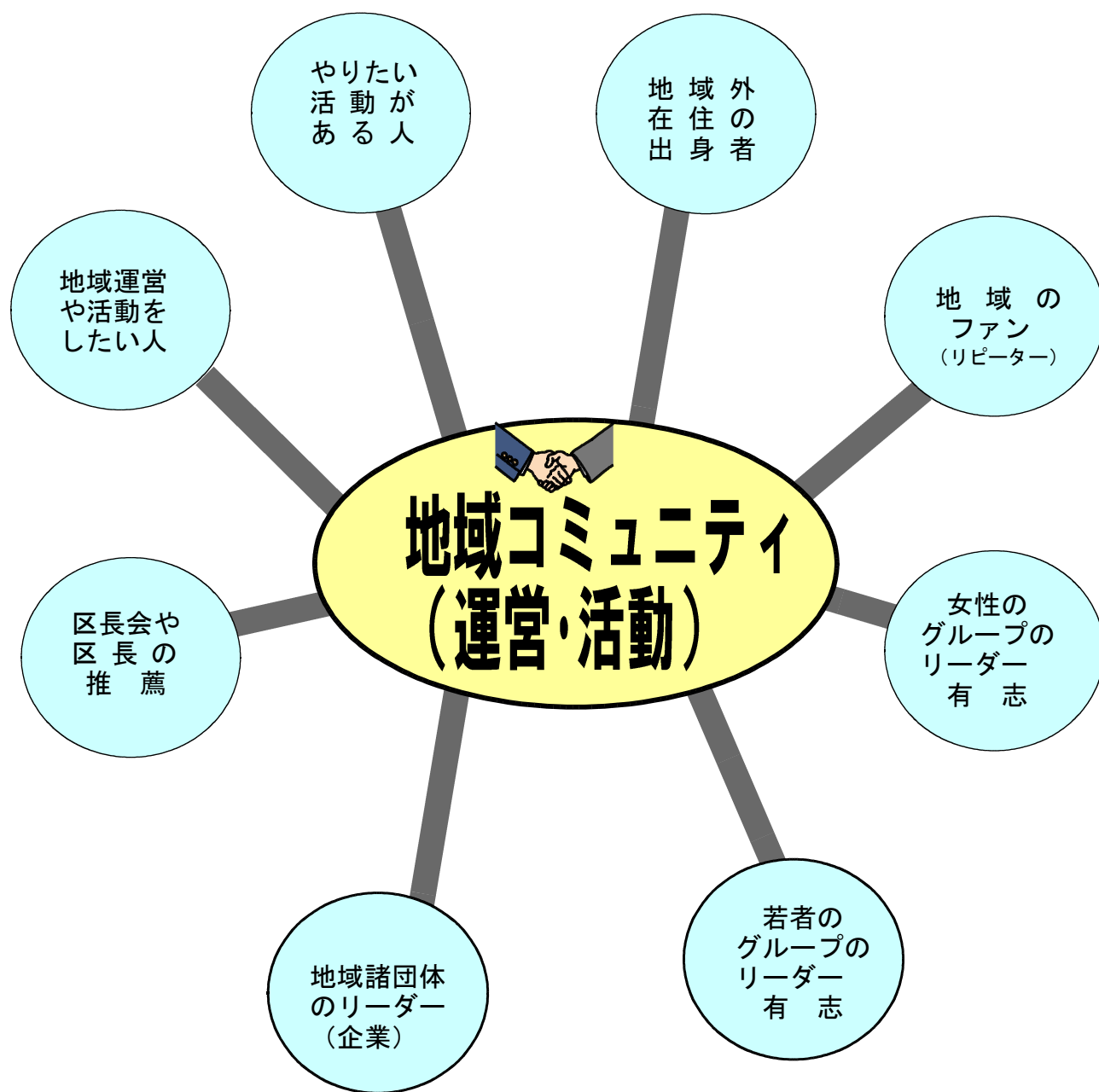
- (1) みんなで自然豊かな里づくり
- (2) みんなで安全で安心して暮らせる里づくり
- (3) みんなで助け合い・支え合う里づくり
- (4) みんなで特性を活かした活力ある里づくり



【イメージ図】



【射添地区全体で運営に関わるイメージ】



射添地区新しい地域コミュニティ組織として取り組み可能なことをまとめてみました。

III 射添地区地域コミュニティの具体的な取り組み

(1) 自然豊かな里（ふるさと）づくり

射添地区は、地形が急峻で、耕地が少なく、河川や谷に沿って細長く集落が点在しており、地形的には不利な環境です。反面このおかげで「矢田川」流域に集落があり、清流の貴重な川の幸の恩恵を受けています。自然豊かな山々より様々な山菜などの山の幸にも恵まれ、四季折々を感じることが出来る風光明媚な地域です。しかしながら、近年は、農林漁業従事者の減少と高齢化により耕作放棄地が年々増加しており、その結果、鳥獣害被害も深刻な状況です。射添地区の最大の財産であるふるさとの自然環境・景観を守っていかねばなりません。



○射添地区まちづくりアンケート調査

問：15 地域、集落であなたが、誇りに思っていることは何ですか。



「地域内の景観、自然環境」が47.6%と最も多くなっています。(16集落中13集落)

和佐父	46.4%	粗岡	67.5%	長須	57.9%	長瀬	48.3%	境	69.2%
和田	69.4%	川会	45.7%	味取	37.9%	山田	47.5%		
熊波	62.3%	高津	32.2%	原	44.1%	小城	27.3%		



①射添地区の自然を活かした取り組み ⇒ 『自然の魅力発信』

- 矢田川を活かす（矢田川漁業協同組合との連携による鮎・アマゴ・岩魚・モクズガニ・うなぎ・滝・・・）
- 矢田川見守り活動（各集落にモニターを配置し調査及び情報収集）
- 里山を活かす（野鳥・山菜・栃・星空・林道・紅葉・・・）
- 住みよい環境を守り地域資源を活かす（地域の宝探し・未利用資源の掘り起こし）

②自然環境改善への取り組み → 「自然環境整備」 ⇒ 『循環型社会の構築』

- 農地・山林を活かす（農地の保全及び耕作放棄地対策・猟友会との連携による鳥獣害対策）
- 雑木林を活かす（北但西部森林組合との連携、原木の活用（木の駅・キノコ栽培）



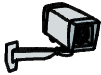
(2) 安全で安心して暮らせる里（ふるさと）づくり

射添地区は、前述の通り地形が急峻で、矢田川沿いの谷に沿って細長く集落が点在しており、近年の台風・異常気象・ゲリラ豪雨などによる土砂災害・風水害の発生や避難場所及び避難経路等が危惧されます。香美町では、自主防災組織や避難訓練などを実施していますが、緊急時における災害に対し高齢化が進むなか、日中は消防団員や子育て世代や現役世代は、近隣市町に勤務しており地域住民は不安を感じています。又、インターネット、スマホ等の普及により予期せぬ事故や事件が発生するなど、安心して暮らせる環境づくりと各集落それぞれの対応が求められます。私たちの地域は私たちで守り育てる。射添地域全体における課題の解決と安心安全な「防犯(災)力」を高める対策が急務であると考えます。



○射添地区まちづくりアンケート調査

問 8 地域や集落で実施している活動事業に対するあなたの満足度と重要度をそれぞれ5段階で評価して下さい。

	『重要』と『やや重要』の合計 (%)
防火、救命などの消防活動	63.4
避難訓練などの防災活動	61.4
登下校の子供の安全を支える活動	53.7

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い	同左
買い物、通院など移動手段	55.6
状況把握、空き家などの管理活動	61.4



①各集落における自主防災、防犯対策の仕組みづくり ⇒ 『災いに強い里づくり』

- 防災ハザードマップの活用と訓練、防犯カメラ等の整備及び住民との情報の共有
- 防犯協会・消防団との連携と緊急時における隣近所及び地域の助け合いの支援

②青少年の健全育成と見守り活動・声かけ運動の仕組みづくり ⇒ 『地域見守り隊』

- ふるさと教育及び健全育成に関する子育て支援や独居老人への支援
- 地域住民が支えあう安心安全なネットワークの構築と支援



③地域の課題やニーズの把握及び情報共有の仕組みづくり ⇒ 『地域のパイプ役』

- 各区長・行政等との連携の強化と拡充（各集落見守りの活動、出前講座の活用）
- 集落の空き家対策や移住者対策（Iターン、Uターン）の調査研究

(3) みんなで助け合い・支え合う里（ふるさと）づくり

射添地区は、少子高齢化が顕著で今後も人口減少が進み、集落機能の維持も困難となるものと考えます。又、高齢化に伴い様々な分野に今後影響が出てくるものと予想されます。誰もが安心してこの地域（集落）に住み続けるためには、子供からお年寄りまで全ての人がお互いに助け合い、支え合うことが大切です。射添地区新しい地域コミュニティ組織は、集落・地域住民の困りごとや課題などを支援することで誰もが健康で長く住み続けるため、地域住民に寄り添ったコミュニティ活動が求められています。

○射添地区まちづくりアンケート調査

問：8 地域や集落で実施している活動事業に対するあなたの満足度と重要度をそれぞれ5段階で評価して下さい

満足度が高かった順位 《順位 1 位》	『満足』と『やや満足』 の合計 (%)
集落、地域内の付き合い	63.4

満足度、重要度が高い順位 《順位 3 位》	『重要』と『やや重要』の合計 (%)
集落、地域内の付き合い	61.2

①地域住民の健康増進及び福祉の増進に資する事業活動の支援

- 集落内でのコミュニケーション事業の推進
- 行政・社会福祉協議会との連携の強化と地域住民交流による健康増進の推進



②持続可能な集落の運営と活動の支援 ⇒ 『集落のよろず支援活動』

- 集落内及び集落間の連携の推進
- 行政、自治会との連携による集落の事業活動の支援



③買い物弱者及び移動手段を確保する仕組みづくり

- 公共交通機関との連携による移動手段の確保、デマンドバス等コミュニティ交通の調査研究
- 移動販売サービスの調査研究

④地域の環境整備活動の仕組みづくり ⇒ 『射添心豊かな美化作戦』

- 地域環境美化花いっぱい運動による活動の推進
- 集落内の維持管理及び美化活動（除雪・除草・防犯灯など）の支援



(4) 射添地区の特性を活かした活力ある里（ふるさと）づくり

射添地区各集落は、少子高齢化による人口減少と若年人口が少なく、又、生活環境の変化により伝統文化の継承が困難な状況にあります。各集落で古来より守り伝わってき

た歴史的文化遺産を守り次世代へと継承する仕組みづくりが必要です。その伝統を守りつつ、地域内外の各種団体・組織と協力し外家族も含む地域住民すべてが相集い共に参加し、そして子供たちが伸び伸びと育ち、住みよい生き甲斐のある思い出深い地域づくりの推進と地域住民の交流など『地域おこし』による活性化事業に取り組む必要があります。

○射添地区まちづくりアンケート調査

問：8 地域や集落で実施している活動事業に対するあなたの満足度と重要度をそれぞれ5段階で評価して下さい

満足度が高かった順位		【重要度が低い順位】	『満足』と『やや満足』の合計	「あまり重要でない」と「重要でない」の合計
順位2位	⑥祭りなどの祭礼イベント	【順位8位】	44.8%	6.2%
順位4位	⑨敬老会など高齢者を対象とした事業	【順位4位】	39.1%	7.2%
順位8位	⑩地域の伝統文化、芸能の継承	【順位5位】	31.6%	6.6%
順位10位	⑬運動会など地域内のスポーツ大会	【順位1位】	21.8%	8.4%

①射添各集落に伝承されている歴史的文化遺産（祭事）の継承

→ 次世代への継承する仕組みづくりと保存



②地域住民参加による交流事業の推進

→ 各種団体、組織参加による外家族も含め地域住民ふれあい交流事業

③地域特産品の活用と地域資源を掘り起こしによる商品化と販路開拓支援

→ 地域の特性を活かした商品の開発と現存特産品の販路支援

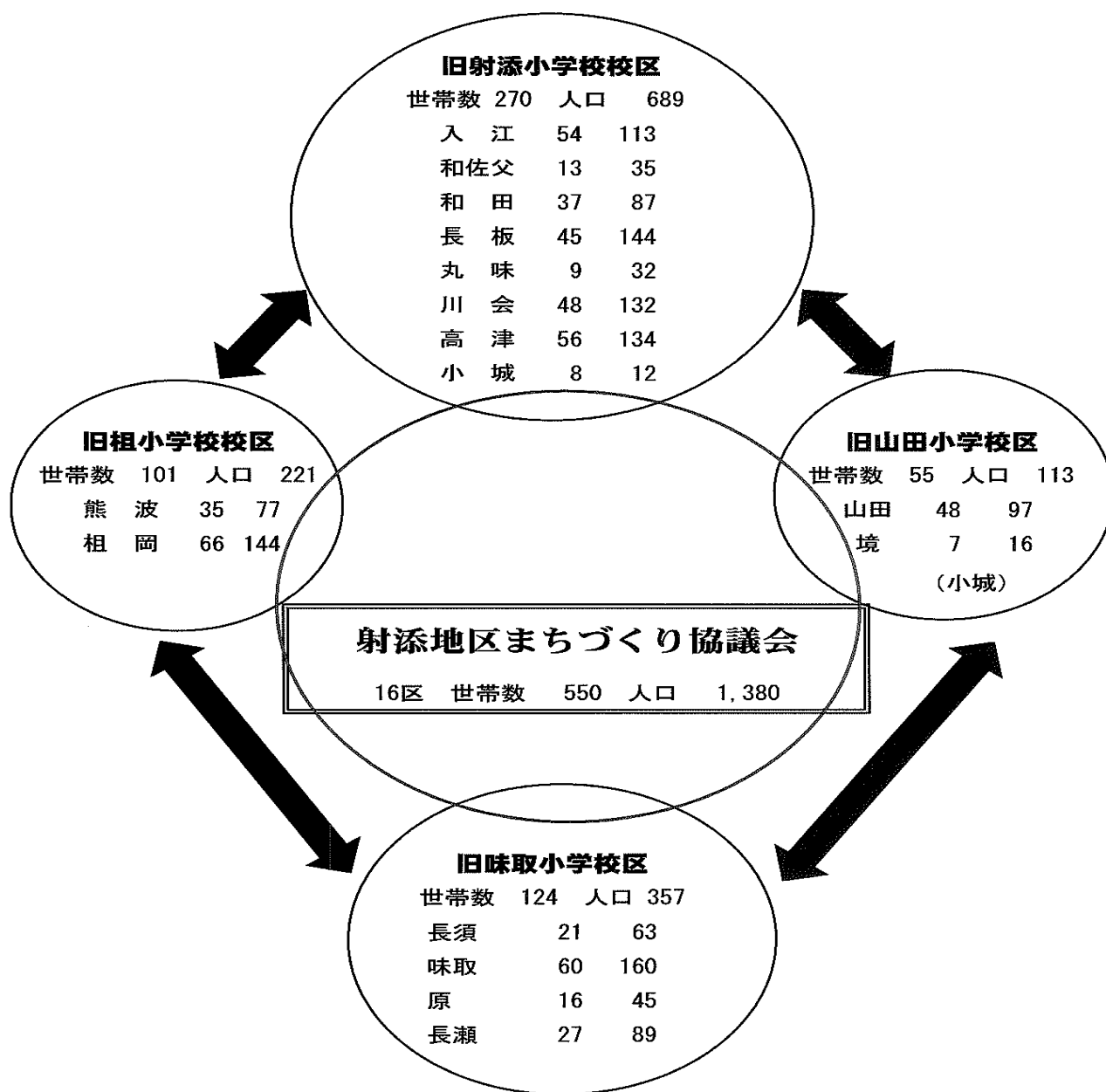
⇒ 『一区一品運動』

→ 特産品及び一次加工品を活用した地域振興対策事業の支援



これらの活動で『地域の総合力』による、射添地域に根ざした持続可能な射添地区新しい地域コミュニティづくりが考えられます。

射添地区の校区構成図



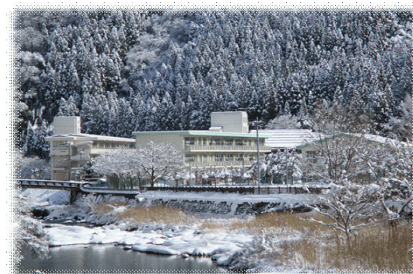
射添地区まちづくり協議会
和

入江・和佐父・和田・長板・熊波・祖岡・丸味・川会
高津・長須・味取・原・長瀬・山田・小城・境

射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会活動報告

期 日	会 議 名	協 議 内 容 等	場 所
H31年 1. 17	組 織 設 立 準 備 委 員 会 発 足 式	・ 町の基本方針の説明 ・ 規約、役員体制、推進体制の協議 (区長会、射添を考える会)	射添公民館
2. 1	第 1 回 委 員 会	・ 事務局体制(集落支援員) の件 ・ 事務所備品の購入の件 ・ 女性の委員への参加の件	射添公民館
2. 10	研 修 会	・ 題目『担い手を活かす地域づくりへ』 講 師 鳥取大学地域学部教授 筒井 一伸 氏 参集者 射添地区各区長、設立準備委員、村岡区民	老 人 福 祉 セ ン タ ー
3. 5	第 2 回 委 員 会	・ 事務局長の町への推薦の件 ・ 新年度委員の執行体制の件	射添公民館
3. 26	第 1 回 役 員 会	・ 事務局の決定の件 ・ コミュニティ助成事業申請の件 ・ 平成31年度のスケジュールの件	射添公民館
4. 3	第 3 回 委 員 会	・ 設立準備委員会事務局体制、設立準備委員の件 ・ 設立準備委員会スケジュールの件 ・ 地域コミュニティづくりの実践方策の件	射添公民館
R元年 5. 24	意 見 交 換 会	・ 題目『ヒト×コトから考えるコミュニティづくり』 講 師 鳥取大学地域学部教授 筒井 一伸 氏 参集者 射添地区各区長、設立準備委員	射添公民館
5. 29	第 4 回 委 員 会	・ まちづくりアンケート調査の件 ・ 射添各区の事業活動と現状の件 ・ コミュニティづくりの将来像の件 ・ 先進地視察研修の件	射添公民館
6. 19	第 2 回 役 員 会	・ 地域コミュニティづくりの取り組みの件 ・ 先進地視察研修日程の件	射添公民館
7. 23	第 5 回 委 員 会	・ 第 1 回ワークショップ ①射添地区の良い(強み) ところ ②射添地区不安(弱み) なこと	射添公民館
9. 17	第 6 回 委 員 会	・ まちづくりアンケート調査報告書の概要報告 ・ 第 2 回ワークショップ ①地域活動への関心のアンケート結果 ②日常生活での不安や困りごとアンケート結果	射添公民館
10. 16	第 3 回 役 員 会	・ 今後の地域コミュニティづくりの取り組みの件	射添公民館
10. 24	第 7 回 委 員 会	・ 第 3 回ワークショップ ①射添地区の良い(強み)・不安(弱み) ※コミュニティづくりに必要なこと ②日常生活での不安や困りごとのまとめ	射添公民館

11. 19	第 8 回 委 員 会	・ 第4回ワークショップ ①射添地区コミュニティ組織は何に取り組むのか	射添公民館
12. 2	第 4 回 役 員 会	・ 今後のコミュニティづくりの取り組みの件	射添公民館
12. 17	第 9 回 委 員 会	・ 射添地区新しい地域コミュニティづくり(素案) の検討	射添公民館
R2年 1. 22	第 5 回 役 員 会	・ 今後の地域コミュニティづくりの取り組みの件 ①射添地区新しい地域コミュニティ組織体制の検討	射添公民館
1. 28	第10回委員会	・ 射添地区新しい地域コミュニティ組織体制の件 ・ 地域コミュニティの名称、規約の検討	射添公民館
2. 13	説 明 会	・ 地域コミュニティづくり説明会(射添地区各区長)	射添公民館
2. 13	第 6 回 役 員 会	・ 射添地区まちづくり協議会設立に向けての課題の件	射添公民館
2. 20	第11回委員会	・ まちづくり協議会の役員及び委員の検討の件 ・ まちづくり協議会設立に向けてのスケジュールの件	射添公民館
事 業 等	各 区 事 業 調 査	○コミュニティづくりに関する各区の事業活動に関する調査(5月)	
	調 査 事 業	○射添地区まちづくりアンケート調査(6月30日各区より回収) ・ 調査対象 中学生以上 ・ 調査世帯 529世帯 配付枚数 1,273枚 回収 868枚(68.3%) ・ まちづくりアンケート調査報告書《要約版》10月10日配付	
	広 報 紙 発 行	①射添地区地域コミュニティだより創刊号 (6月27日発行) ②射添地区地域コミュニティだより第2号 (10月10日発行) ③射添地区地域コミュニティだより第3号 (3月12日発行)	
	視 察 研 修	○視察先 与布土地域自治協議会の視察(15名参加) ・ 内 容 設立に向けての取り組み、運営に関する件 ・ 住 所 朝来市山東町溝黒366	
	集 落 調 査 事 業	○村岡発元気化プロジェクト集落調査(魅力発見集落調査) ・ 対象集落 射添集落調査未実施集落 11区 ・ 調 査 村岡高校生地域創造系1年～3年 37名 ・ 調査期間 7月20日～8月27日 ・ 内 容 現地の散策と聞き取り調査 各集落2回訪問 ・ 発行予定 令和2年3月下旬 《むらの風景(射添集落編)香美町集落ガイドブックVo1.3》	



射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員名簿

役 職	氏 名	所 属	地区名	備 考
会 長	古川 功兒	射添区長協議会会長	長 板	準備委員会役員
副 会 長	中村 重信	射添区長協議会副会長	川 会	〃
々	森 龍子	射添地区公民館長	和佐父	〃
委 員	東垣 泰彦	射添区長協議会役員	境	〃
々	田中 眞徳	射添区長協議会役員	祖 岡	〃
々	中村 孝一	射添区長協議会役員	長 須	〃
々	田中 則義	射添地区区長協議会監事	高 津	
々	山本 太一	射添地区区長協議会監事	山 田	
々	西坂 秀美	香美町議会議員	山 田	
々	岸本 正人	香美町議会議員	祖 岡	
々	田中 洋介	射添地区老人クラブ代表	高 津	
々	浅田 重男	射添地区老人クラブ代表	原	
々	今後 武司	香美町商工会射添地区代表	味 取	
々	上田 勝也	射添地区青壮年部代表	川 会	
々	澤村 博行	スポーツ２１いそう代表	和 田	
々	古川 綾子	射添地区愛育班	長 板	
々	田中 壽賀子	射添地区愛育班	高 津	
々	岡本 里美	射添地区婦人会代表	味 取	
々	田中 満子	射添地区婦人会代表	祖 岡	
々	田 淵 悠代	射添地区いずみ会代表	長 板	
々	才田 崇仁	射添小学校ＰＴＡ会長	長 板	
々	奥谷 直樹	射添小学校子ども会会長	長 須	
々	北村 慎二	射添幼稚園保護者会会長	入 江	
々	谷 淵 秋晴	村岡中学校ＰＴＡ（射添地区代表）	長 瀬	

香 美 町	水垣 清和	企画課長	
	山下 剛志	企画課企画調整係	町担当者
	諏訪 信彦	企画課集落支援員（射添地域コミュニティ）	事務局

◇ ◇ ◇ あ と が き ◇ ◇ ◇

香美町で、最初の「地域コミュニティ組織」の設立に向け、昨年1月に『射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会』を立ち上げました。設立準備委員会では、マニュアルも何もない中で、先進地視察研修や5回のワークショップを開催し、地域の住民の皆様のご意見を踏まえ、射添地区に根ざした地域コミュニティのあり方や方向性について、設立準備委員24名にて、慎重審議、検討に検討を重ね、この度、『射添地区地域コミュニティだより第3号（射添地区新しい地域コミュニティづくり報告書）』として発行することが出来ました。射添地区の区長様をはじめ地域の住民の皆様にはご協力を賜り大変ありがとうございました。

この広報をご覧ください更なるご意見やご要望をいただきながらより良い『射添地区まちづくり協議会』の設立に向け取り組んで参りたいと存じます。今後も射添地区住民の皆様のご理解とご協力を重ねてよろしくお願い致します。

香 美 町

射添地区新しい地域コミュニティづくり報告書

令和2年3月

射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会

〒667-1368 兵庫県美方郡香美町村岡区入江711-2

TEL 0796-80-1550 FAX 0796-80-1626



うごまーく (仮)